平成 29 年1月吉日

保険薬局 各位

ＪＣＨＯ　九州病院
薬剤部長 末松　文博

院外処方せんへの（腎）マークの印字について（お知らせ）

平素よりＪＣＨＯ九州病院発行の処方せんを応需いただき、ありがとうございます。

当院では、平成29年1月10日（火）より「検査値付き院外処方せん」の発行を予定しております。なお、この件に関しましては、すでにホームページやポスターなどでお知らせするとともに、八幡薬剤師会とも協働して「薬と検査値」についての勉強会なども実施してきたところです。今後保険薬局において、印字された検査値を処方監査や服薬指導に活かしていただくことで、外来患者さんの薬物療法の適正化につながるものと期待しております。

さて、今回記載する臨床検査値16項目のうち、腎機能に関する検査値が3項目（Scr, eGFR, Ccr）印字されます。当院におけるプレアボイド報告の解析からも、薬剤師が腎機能検査値を確認して医師に薬剤中止・変更を提案した事例が最も多く報告されています。院外処方においても、このような疑義照会が増えてくると思われます。

そこで今回、添付文書ならびに専門書籍などにおいて腎機能低下時に減量が推奨されている薬剤については、薬剤名の前に（腎）のマークを印字することにしました。

ただし、（腎）マークはあくまでも補助的なものであり、保険薬局薬剤師としての専門的知見に基づいた処方監査をお願いいたします。

保険薬局の皆様におかれましては、今回の取り組みに対してご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

処方印字例.

Rp.01 （腎）【般】ファモチジン口腔内崩壊錠　10mg		1T
	1 日 1 回：朝食後	7 日分

以上

問い合わせ先：　ＪＣＨＯ九州病院院薬剤部 医薬品情報管理室
電話 093-641-9709(直通)